

## イシガレイの稚魚

### ■3月の稚魚

昨年まで、イシガレイの調査は主に投網を使用していた。投網の網目は1cm程度あるため、より小さな個体は採集することが難しい。昨年は4月に1.5cmの個体を採集したが、3月により小型の個体が干潟に入っている可能性を考え目の細かな手網(Fig.1)を使用した。その結果小型の個体を数多く(22匹)採集することができた。早い時期から干潟付近に入り込んでいることが明らかになったため、来年は更に早い時期からの採集に取り組み、より多くのでデータを集めたい。なお採集場所は(Fig.2, 3)の赤で示した位置である。干潟内 Fig.2の黄色の部分では1匹採集できたのみであり、干潟内には稚魚があまり入り込んでいないことがうかがえる。

なお、Fig.3の赤の位置ではアサリの稚貝(Fig.4)も採集され、アサリが干潟付近で順調に成長していることが確認できた。

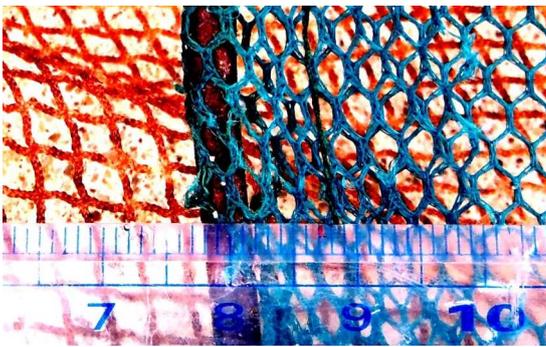


Fig.1 使用した網



Fig.2 採集場所



Fig.3 採集場所



Fig.3 採集した稚魚(下の目盛りは1mm)



Fig.4 アサリの稚貝 (佐藤 賢治)